

検討対象 4 職種の評点

(1) 機械木工

カテゴリー	平均評点	8 割値	機械木工職種の 評点	8 割比
製造型・製品生産型・機械化型	49.3	39.4	56.0	○

(2) 陶磁器製造

カテゴリー	平均評点	8 割値	陶磁器製造職種の 評点	8 割比
工芸型	51.4	41.2	57.0	○

(3) 製版

カテゴリー	平均評点	8 割値	製版職種の評点	8 割比
製造型・製品生産型・労働集約型	50.2	40.1	25.3	×

(4) エーエルシーパネル施工

カテゴリー	平均評点	8 割値	製版職種の評点	8 割比
建設型	52.4	41.9	46.0	○

※ 「技能検定の職種等の見直しに関する専門調査員会」報告書（平成 21 年 1 月）において、統廃合等の検討対象職種選定のための第一次判断（受検申請者数）をクリアできなかった職種については、第二次判断として、社会的便益の評点を「同じカテゴリーの平均評点」と比較し、8 割未満である職種については、「廃止、他職種と統合して都道府県で実施又は指定試験機関へ移行すること」とされている。

職種カテゴリごとの平均評点及び8割値

カテゴリ		合計	8割値	
建設型		52.4	41.9	
製造型	製品生産型	労働集約型	50.2	40.1
		機械化型	49.3	39.4
	生産支援型	整備型	52.1	41.7
		生産基盤提供型	49.8	39.9
工芸型		51.4	41.2	
サービス型		51.6	41.3	

平成 26 年度技能検定の社会的便益に係るアンケート調べ